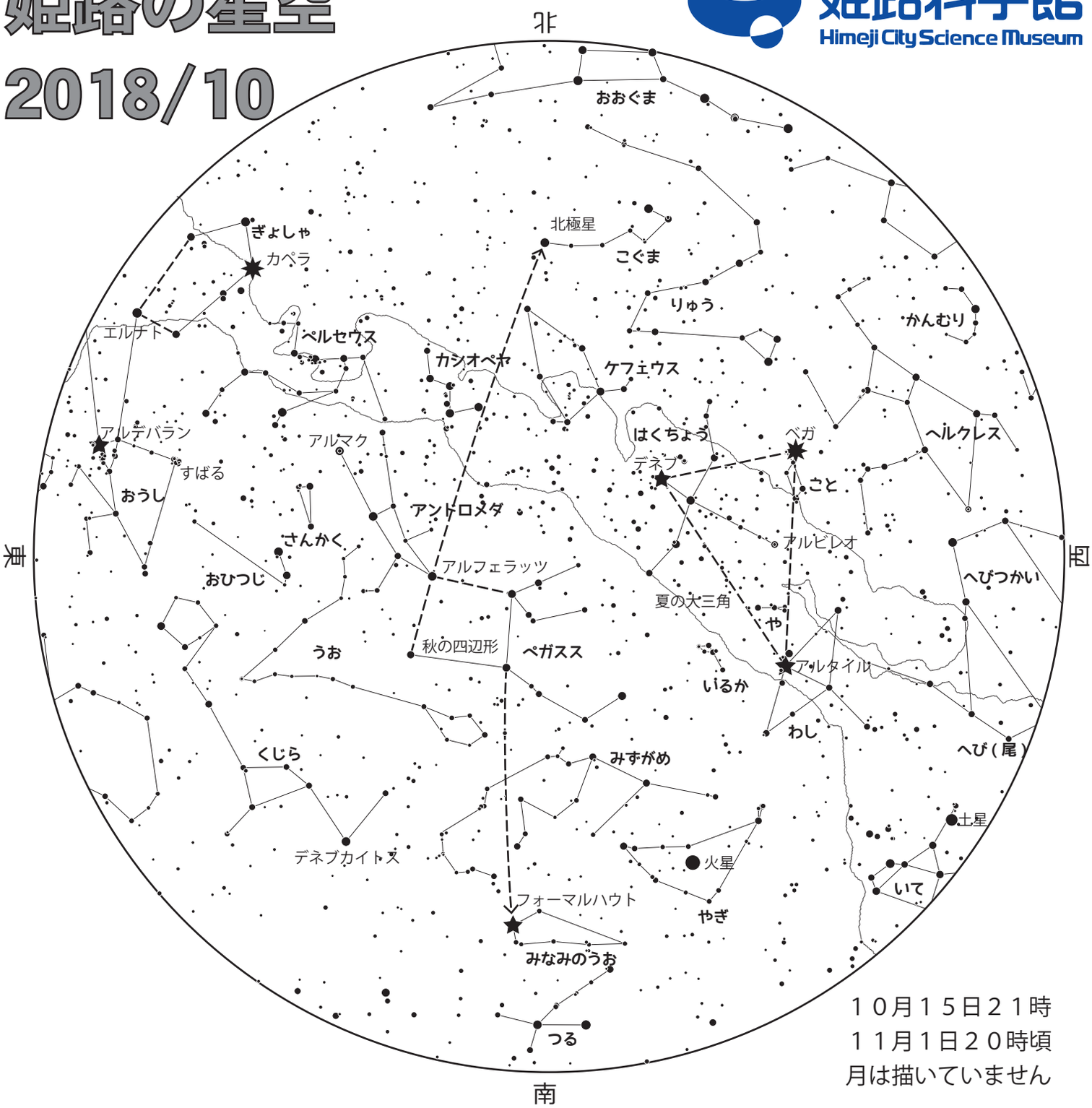
姫路の星空
2018/10

姫路科学館
Himeji City Science Museum



１０月１５日２１時
１１月１日２０時頃
月は描いていません

夕方の空に３つの惑星が見えます。南西から順に、木星、土星、火星です。木星は真っ暗になる頃には沈んでしまうので、見晴らしのいいところで、明るさの残るうちに探しましょう。土星は低空では見えにくいので、望遠鏡で環を見たい人は早い時期、早い時間がオススメです。火星は**やぎ座**を東に向かって移動中です。

季節がめぐり、夏の星座が西に移りました。しかし、夏の大三角はクリスマスの頃まで日没後の西の空どこかに見えます。**こと座**のベガと**わし座**のアルタイルの間に立つ十字の姿が**はくちょう座**で、しっぽの星はデネブです。

東の空高く、秋の四辺形が見えます。空飛ぶ馬**ペガスス座**の胴体です。ペガススの背中からおへそに線を引き、そのままのばすと、**カシオペヤ座**と（W）と**ケフェウス座**（五角形）の間を通って北極星に届きます。ペガススの前足の付け根から首の付け根に線を引き南にのばすと、**みなみのうお座**のフォーマルハウト（秋のひとつぼし）があり、ペガス座との間に**みずがめ座**が広がります。

東の低空には冬の星、**ぎょしゃ座**のカペラと**おうし座**のアルデバランも見え出しています。アルデバランの上に、星の集まり「すばる」が見えるでしょうか？